

真面目

東邦

東邦学園広報

キャンパス

東邦学園の建学の精神は「真に信頼して事を任せうる人格の育成」であり、校訓として「真面目」を掲げています。

特集：地域とともに歩んだ東邦吹奏楽 音楽文化を育て高めた90年



学校法人東邦学園のホームページができました。
詳しくは19ページをご覧ください。

発行 学校法人 東邦学園

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘三丁目11番地
TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

HP 東邦学園 愛知東邦大学 東邦高等学校

vol.127

平成29年（2017年）7月15日



特集 地域とともに歩んだ東邦吹奏楽 音楽文化を育て高めた90年

セントレアのスカイデッキをパレードする東邦高校吹奏楽部

青い空、海、飛行機——。中部国際空港(セントレア)をステージに、吹奏楽演奏と華麗なパレードを楽しむ「セントレア スカイ・マーチング・フェスティバル2017」が5月27日に開催され、東邦高校吹奏楽部(マーチングコース)と愛知東邦大学吹奏楽団が来場者たちの喝采をあげました。イベントの企画・運営責任者は東邦高校吹奏楽部OBの森庸全(かねまさ)さん(1965年卒、70歳)。森さんは孫世代とも言える後輩たちの躍動に目を細めながら、東邦学園の90年を超す歴史とともに歩んできた「東邦吹奏楽」が地域の音楽文化を高めるために果たしてきた貢献について語ってくれました。

喝采のセントレア演奏

「スカイ・マーチング・フェスティバル」はセントレア開港5周年を記念して2011年から続いている「空港音楽祭」の一環。2016年11月から始まり今回が2回目です。第1部が4階スカイデッキでのマーチングパ

レード、第2部が3階屋内のセントレアホールでのマーチングフロアショーの2部構成で開催されました。東邦高校、愛知東邦大学のほか名古屋市名東区の市立猪子石中学校、蟹江町立蟹江北中学校、一宮市の修文女子高校、春日井市の県立春日井西高校の吹奏楽部や名古屋市緑区の市立大高小学校を母体とするOBバンドなど10団体が出演。愛知東邦大学は昨年の1回目から参加していますが、東邦高校は今回が初参加となりました。



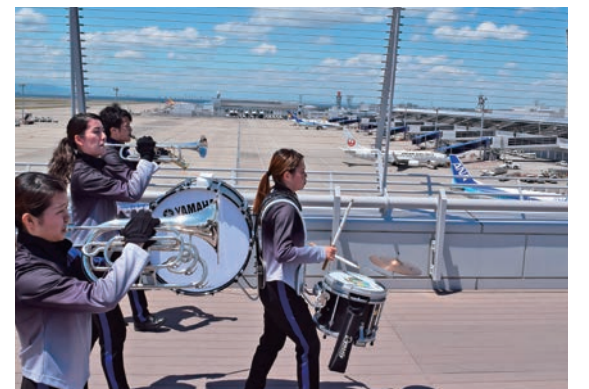
愛知東邦大学吹奏楽団は11人の少人数編成ながらイベントプラザでのミニライブにも出演しました。女性司会者の質問に答えながら、「日本一のアイドルバンド」を目指し、出演依頼があった地域イベントにはできる限り参加しているという活動の様子を紹介。合宿施設があることが縁で交流が続く長野県売木村のPRソング「走れ! うるのすけ」も演奏し、集まった空港利用者たちからは大きな拍手が送られました。

東邦高校吹奏楽部は第1部では部員61人が圧巻のパレード演奏を繰り広げました。部員2人は同じ猪子石中学校吹奏楽部「URIBOU プラスターズ」のパレードでもバナー旗(横断幕)を掲げて先導しました。第2部のフロアショーでは最後の大トリとして登場。迫力いっぱいの演奏とパフォーマンスとアンコール演奏でプログラムを締めくくり、詰めかけたファンたちからは「東邦サイコー」の掛け声も上がりました。

吹奏楽による地域への感謝

東邦高校吹奏楽部と愛知東邦大学吹奏楽団は地域を盛り上げるイベントなどへの出演依頼には学校行事や授業に差し障りがない限り快く応じています。今年3月、東山動植物園の開園80周年を祝う「星が丘門御祝いイベント」では高大合同のマーチングパレードでイベントを盛り上げました。5月14日の「名東の日・区民まつり」でも東邦高校と愛知東邦大学が「平和の丘春まつり」の会場でもあることから、地域の東邦ファンのために渾身の演奏を披露。特に高校ステージは、高校吹奏楽部の迫力ある演奏やパフォーマンスがお目当ての地域の人たちで大にぎわいでした。高校吹奏楽部は8月19日、大学吹奏楽団とともに「広小路夏祭り」にも出演します。

愛知東邦大学吹奏楽団へのイベント出演依頼は年々増え続けています。団長の花木珠里さん(経営学部地域ビジネス学科3年)によると、2007年の創団時は年間10回程度だった演奏依頼を中心とした本番演奏回数が2016年度は30回を上回りました。11人の少人数という小回りの効く良さもあって、病院や施設からのコンサート依頼も増えています。



2017年4月から7月上旬までの愛知東邦大学吹奏楽団の演奏スケジュールです。

- ▽4月 入学式(高校と合同)、藤が丘さくら祭り(雨天中止)、有松藍流まつり(有松駅前)
- ▽5月 名古屋マーチングフェスティバル(センチュリーホール)、名東区民祭り(東邦高校、愛知東邦大学)、うるぎ星の森音楽祭(長野県売木村)、セントレア・スカイ・マーチング・フェスティバル
- ▽6月 有松祭りまつり(有松駅前・イオン・周辺)、インディビジュアルコンテスト(名古屋芸術大学)
- ▽7月 藤田保健衛生大学病院コンサート、平和が丘夏祭り(名東区平和が丘小学校)



イベントプラザで演奏する愛知東邦大学吹奏楽団

花木さんは「声をかけて下さる地域の皆さんに感謝し、演技で恩返しする気持ちで演奏したい」としながらも、「今年こそは12月の全国大会初出場をめざします」と、本来の部活動での目標達成に意欲を燃やしています。

時代を超えて

「スカイ・マーチング・フェスティバル2017」の運営をプロデューサーとして仕切った森さんによると、森さんが東邦高校吹奏楽部で活動した1962年～1965年当時も吹奏楽部は地域を盛り上げるイベントには協力していました。

森さんが2年生の時、東邦高校は第11回全日本吹奏楽コンクール、第2回NHK全国学校楽器合奏コンクールでの優勝に輝きました。輝かしい実績もあるだけに、「ぜひ東邦に出演してもらいたい」という依頼も多かったそうです。森さんは3年生だった1964年秋の名古屋祭りで、自らも加わっている栄町をパレード中の東邦高校吹奏楽部の写真を見せてくれました。

まだ男子校の時代で、50人近い生徒たちはゲートルを巻き、白いキャップをかぶせた帽子で半そでシャツ姿です。森さんはこの年、部長として80人近い吹奏楽

部をまとめましたが、当時は夏の港祭り、津島市の津島祭りなどにも繰り出しました。パレードでは軍艦マーチが定番だったそうです。

吹奏楽部は東邦高校の前身である東邦商業学校時代の1929(昭和4)年に、東邦健児団(ボーイスカウト)の中に音楽隊として設立されたのが始まりでした。『東邦

学園50年史』によると、この当時、20人以上の部員を擁したのは全国でも東京府立一商、京都両洋中学と東邦商業の3校だけでした。50年史には「会社、商店の運動会等に出張演奏の依頼も多かったが、学校音楽隊としての



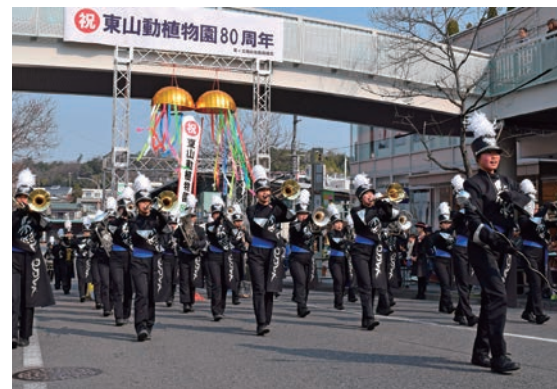
1964年秋の名古屋祭りで栄をパレードする東邦高校吹奏楽部

教育的観点を逸脱しないよう、健全な発展に努力した」と記載されていますから、東邦吹奏楽の地域貢献は学園の歴史とともにずっと続いていることになります。

ちなみに1935年から始まった東海吹奏楽コンクール(当時は軍楽コンクール)で東邦商業は第1回から1942年の第8回まで8連覇。さらに、1940年から始まった大日本吹奏楽コンクールでは第2回、第3回で全国優勝し、全国的にも東邦吹奏楽の名を高めました。

音楽文化を高める地域貢献

森さんは東邦高校から愛知学院大学に進み、在学中にバンドリーダーとして活躍し、ヤマハ・ライトミュー



東山動植物園開園80周年イベント(3月19日)

ジックコンテスト全国大会でグランプリを獲得しました。1969年にヤマハに入社し、プロデューサーとして高木麻早さんや八神純子さんらを発掘しました。1989年に株式会社イントロダクションを設立し代表取締役を務めています。

今回のセントレアでのフェスティバルでは東邦高校吹奏楽部の後輩にあたり、高校と大学で吹奏楽指導に

あたっている白谷峰人さん(学生課職員)にもアドバイザーとして企画運営に加わってもらいました。

イントロダクションのオフィスがある名古屋市東区葵3丁目にあるマンション10階の窓からは、かつて森さんたちが通学した赤萩校舎と呼ばれた東邦高校校舎の跡地を望むことができます。セントレアのイベントプラザで、愛知東邦大学吹奏楽団の団員たちとの記念撮影に収まった森さんはうれしそうでした。そして、フロアステージ横では愛知東邦大学吹奏楽団と東邦高校吹奏楽部の演奏を感慨深げに聞き入っていました。

このイベントの後、森さんから次のようなメールをいただきました。

愛知東邦大学はさることながら何十年振りかに聞いた東邦高校の演奏とパフォーマンスに、この年(古希)で久々に身震いがする感動を感じました。私の時代は男子校でしたので今回は特に、女性の活躍には敬服しました。隣にいた白谷さんに、「このバンドが私の後輩たちになるんですか」と思わず声をかけてしまいました。「そうです。森さんの後輩達ですよ」という白谷さんの答えに、改めて我が後輩バンドに感服し、誇りを感じました。まさに半世紀前の自分を重ねていました。そして私自身、地域の音楽文化を高めるために少しは良いことをさせて頂けている事に感謝の気持ちでいっぱいです。

(法人広報企画課・中村康生)



学生たちと白谷さんに囲まれた森さん

東邦インタビュー

夏の甲子園初の準優勝から 40 年 ひたむきな姿勢 誰かが見ている

東邦高校OB
大矢 正成さん
(JR東海勤務)

40年前の甲子園の思い出を語った大矢さん

「バンビ坂本」(1年生投手の坂本佳一さん)を擁し、東邦高校が初めて夏の甲子園優勝に王手をかけたのは1977(昭和52)年の第59回大会でした。森田泰弘主将(現監督)とともに、坂本投手とバッテリーを組みながらチームを牽引した大矢正成さんに、40年前の熱い甲子園の思い出を中心に語っていただきました。(聞き書き＝法人広報企画課・中村康生)

悪夢の「対外試合禁止1年」

中学時代に2年連続で一宮市大会の優勝投手だったこともあり、東邦高校の野球部監督だった阪口慶三先生に「俺と一緒に甲子園に行こう」と口説かれて1975(昭和50)年に東邦高校に入学しました。当時の東邦は、1973年に山倉和博選手(元巨人)らの活躍で甲子園に春夏連続出場するなど、甲子園に一番近い学校だと思ったからです。

入学して間もない6月、とんでもない事件が起きました。2年生たちが、大量に入部した僕ら1年生部員を引き締めようと教室に集めて注意したのですが、「制裁」と受け止めた1年生がいたらしく、「東邦高校で集団制裁」という見出しの新聞記事が出たのです。3日後、「千種暑の調べで、注意の“行き過ぎ”でいわゆるシゴキやリンチという性質のものでないことがわかった」

という修正記事が出ましたが、日本学生野球協会による「1年間対外試合禁止」の処分が決まってしまったのです。

時間が止まったようでした。阪口先生を始め、甲子園への夢を断たれた3年生たちの嗚咽は今も耳から離れません。僕も心が折れそうでした。1年間のブランクを経たチームが甲子園出場のチャンスをつかんだのは奇跡のようなものでした。3年生の時、入学してきた坂本が投手陣の柱となった東邦は夏の愛知大会決勝で、無敵を誇っていた名古屋電気高校(現在は愛工大名電高校)を破ったのです。

手が届きかけた夏の甲子園初優勝

東邦は、春の甲子園には15回出場し3回優勝していましたが、7回出場の夏はベスト8が最高でした。そして8回目の夏、僕らは初の準優勝に輝きました。あの夏、「バンビ」と呼ばれた坂本は、1年生ながら決勝戦の東洋大姫路戦まで堂々と投げ続けましたが、延長10回裏、サヨナラ3点本塁打を打たれ、1－4で涙をのみました。

僕は今でも決勝戦は勝ちゲームだったと思っています。東邦は2回に1点を先攻しましたが4回、1死1、3塁から同点に追いつかれました。阪口監督から



第59回大会で大鉄高校に勝ち決勝進出を決めた東邦高校(左から三塁手森田、捕手大矢、一塁井上)

僕には、スクイズを警戒して「外せ」のサインが出ていました。ところがバッターはスクイズせず、3塁ランナーが突っ込んできたのです。あわてて戻るランナー。3塁手森田に送球して十分刺せるはずでしたが、ボールが森田のグラブを弾いてファウルグラウンドを転がり、ランナーは同点のホームを踏んだのです。記録は森田のエラーですが、僕がもう少し余裕を持って投げれば、同点は防げたかも知れません。

東邦は6回に無死満塁のチャンスを2度のスクイズ失敗で攻撃を終えました。あと1点取れば、夏の大会では東邦の初の優勝が決まる。阪口先生も何としても「あと1点」がほしかったのでしょう。先生が33歳の時でした。

東京6大学リーグでは 優勝引き寄せる決勝打

僕は法政に進み、2年生秋にはキャッチャーで出ていました。しかし、1学年下の木戸克彦(元阪神)がPL学園から入ってきて僕は控えに回りました。3年生の秋と4年生の春に優勝しましたが、3年生の秋には僕もちょっと活躍しました。

この年、法政と明治はともに創立100周年で、「法明100年戦争」と話題になり、春は明治が優勝していました。法政の100周年記念式典のあった日に慶応と対戦。僕は延長10回に代打でセンター前にサヨナラのクリーンヒットを決め、勝点が入ったのです。総長らスタンドの大学幹部たちも大喜びで翌日紙面には僕の万歳の写真が載りました。これで弾みがつき優勝することができました。

法政にはこの年、東邦から坂本も入っていましたが、残念ながら「バンビ坂本」だった時のような球威はありませんでした。彼の一番いい時期の球を甲子園で受けていただけにその違いがはっきり分かりました。

NHK解説者として見続けた高校野球

2003年から10年間、NHK名古屋で高校野球の解説をして2013年からは大阪放送局で甲子園の解説をさせてもらっています。独自の球種分析などキャッチャーとしての視点が注目されたのでしょう。2016年夏は東邦が3回戦まで進みましたが3回戦第1試合は僕がラジオで担当予定でした。ところがこの年に東邦対聖光学院戦が入ってきたことで、NHKから「外れてください」と言われました。母校の試合は担当しないことになっているからです。

八戸学院光星を劇的な逆転劇で下した2回戦第3試合は、第1試合をテレビで解説したあと、NHK関係者席から見せてもらいました。7回表まで2－9と大差をつけられながらの土壇場での10－9という大逆転劇。9回裏、静けさを突き破るように東邦のプラスバンドの演奏が響き渡り、拍手とタオルを振っての応援が1塁側から球場全体に広がっていきました。球場にいた人たちはみんな感動したと思います。もちろん僕も大感動でした。

一生懸命にやっている姿は誰かが見ている



JRセントラルタワーズ前で

僕も不器用な人間なのでずっとコツコツやってきましたが、野球に限らず、一つのことをひたむきに、一生懸命やっている姿は誰かが見てくれると思います。会社勤めであれば誰でも出世したいとか給料をあげてほしいとか、人事異動があればやりたくない仕事が続いてきたりします。しかし、自分なりにその仕事に意義を見出し、できることをコツコツやるのが夢に近づく道だと思います。

大矢 正成(おおや・まさなり)さん

一宮市出身。東邦高校が1977年夏の甲子園決勝戦に進んだ時のキャッチャー。法政大学を経て入社したJR東海(入社時は国鉄名古屋鉄道管理局)でも野球部で選手、コーチ、監督を経験。現在は総務部人権啓発室長。法政大学野球部東海支部長、東邦学園評議員も歴任。愛知県野球連盟理事、NHK高校野球解説者。58歳。

年間行事

(2017年度)

- 4 入学式、始業式・クラブ紹介
学級合宿（1年）
体力測定、遠足（2・3年）
- 5 名東の日、中間考査
開校記念行事、実力考査（3年）
- 6 学級懇談会（全学年）
期末考査
- 7 生徒会競技大会
終業式、夏期休暇、夏期補習（前期）
就職指導個別面接
- 8 夏の英語研修
納涼音楽祭
夏期補習（後期）
- 9 インターンシップ報告会
始業式、面接週間
実力考査（全学年）、学級懇談会（3年）
学園祭（体育祭、文化祭）
- 10 中間考査、芸能鑑賞
学級懇談会（1・2年）
英語スピーチコンテスト
- 11 修学旅行
美術科卒業制作展
期末考査
- 12 慰霊の日
学級懇談会（3年）
終業式、冬期休暇
- 1 始業式、面接週間
学年末考査（3年）、実力考査（1・2年）
マラソン大会
- 2 修学旅行（人間健康コース）
予餞会、卒業式
- 3 学年末考査、実力考査、終業式

「クエストカップ2017 全国大会」に5年連続5回目出場

進路指導室 池田 暁生

「クエストカップ2017 全国大会」が2月18日、法政大学を会場に開催され、東邦高校は2012年以来、5年連続5回目の出場を果たしました。「企業プレゼンテーション」部門に普通科の女子1チームが出場。今回は富士通から出されたミッションに自分たちならではの視点から挑み、力強くプレゼンテーションを行いました。

惜しくも企業賞を受賞することはできませんでした

が、企業からの高い評価を受けました。探究的な学びを通じて、生徒たちが自ら考え行動できる育成の一助となるよう引き続き教育活動に取り組んでいきます。

2月28日 第68回卒業式を挙行

今年は、527人が巣立っていきました。今年は商業科94年の歴史に幕を閉じる最後の卒業生となりました。文武両道をまさに実践し、春夏連続の甲子園出場やサッカー選手権大会への出場と最後の商業科にふさわしい活躍をし、素晴らしい幕引きをしてくれました。

4月6日 557人迎えての入学式

桜の咲き誇る中、本校の体育館で平成29年度入学式が挙行されました。新入生代表のL組西森万里子さんは、本校硬式野球部の諦めない、仲間を信じることの大切さを見習い努力すること。また「星の王子様」の作者、サン＝テグジュペリの言葉を引用し、歩むことこそ重要、努力し続けることを力強く誓い、東邦生として歩みだしました。

4月19日～21日 1年生が学級合宿

1年生は2グループに分かれ1泊2日で学級合宿を実施。前団は19、20日、後団は20、21日恵那・湯の山に分かれて実施しました。例年桜が見ごろの恵那のパーベキュー会場も今年は咲始めでした。

放送部がNHK全国放送コンテスト創作ラジオドラマ部門で県最優秀賞

放送部は6月18日に刈谷市で開催された第64回NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会で、創作ラジオドラマ部門最優秀賞を獲得し、7月25日から東京で開催される全国大会出場を決めました。同部門の全国大会出場は2012年の第59回大会以来2回目です。

今回の入賞作品は「まちゃん頑張れ!!」。3年生の小久保恵さんを中心に2、3年生部員10人が女子生徒たちの友情をテーマに8分間のドラマに仕上げました。全国大会は7月25～27日に開催されます。



最優秀賞のトロフィー

クラブ活動報告(6月1日現在)

全国大会出場	ダンス部 2017年全国高等学校ダンスドリル選手権大会東海大会、HIPHOP男子男子ソロ編成は優勝し全国大会へ
インターハイ出場	空手道部(男子個人組手、男子個人形)
県大会出場	剣道部(女子団体、男子個人)、バレーボール部男子、ソフトテニス部、アーチェリー部

大盛況! 「平和の丘春まつり」地元の川と生き物調査と透明標本作りも

科学研究部顧問 平川 史子

「名東の日」の行事として5月14日に東邦高校で開催された「平和の丘春まつり」では、恒例「こども科学広場」で、スライム、プラバンなどをお子さんとちと楽しみました。会場は大盛況。幼児の目線までしゃがんで説明する部員たちに、普段とは違った優しさを垣間見ることができました。



名東の日 こども科学広場

また昨年から、矢田川の生き物調査と釣り上げたブルーギルの透明標本作りに取り組んでいます。完成品は東急ハンズで販売されているものにひけを取らない美しさです。校外での研究発表にも参加し、「なごや生物多様性保全活動協議会」から助成金交付を受けることになりました。地元河川や生き物への関心を1年生に引き継ぎ、研究活動や他校との交流を広げていきたいと考えています。

春季定期演奏会を終え、7月愛知サマーセミナーへ

軽音楽部顧問 水谷 光博

恒例となった春季定期演奏会を4月末に開催し、生徒保護者、新入生をはじめ多くの方に来場をいただくことができました。私たちは、「心を込めたあいさ



春季定期演奏会（栄Roxxで）

つ・掃除、真面目に練習、人を感動させる音楽」を活動の目標とし、J.POP、J.ROCKなどの音楽創造をしています。5月には新入生を迎え、総勢80人の部員が8グループに分かれ、7月に行われる愛知サマーセミナーでの初舞台を目指して生き生きと練習しています。

音楽を楽しみつつ、集団の中で多様なことを学びとり、社会で幸せに生きることができるための力の獲得をめざしています。みなさまの応援をよろしくお願いします。そして、是非愛知サマーセミナーへお越しください。

男女とも県高校総体に参加

ソフトテニス部顧問 若山 大樹、小川 礼

今年度は、男女ともに愛知県高等学校総合体育大会に参加しました。個人戦・団体戦ともに出場することができました。当日は天気にも恵まれ、青空の下、会場には様々な思いが詰まった声援が飛び交い、選手の歓喜の声も混じり、熱気に包まれていました。結果としては、団体戦が1回戦敗退、個人戦では3ペア中2

ペアは1回戦敗退、1ペアは2回戦敗退と、惜しい結果となりました。

今回の結果は、保護者の皆様やコーチ、OBの皆様の応援とご支援があつてこそのものであります。しかしながら、今回の結果に満足することなく、これからも部員一同、邁進してまいります。今後ともご声援のほど、よろしくお願いいたします。

全国総体26年連続出場に思う

空手道部顧問 村田 悟

3年生の三田溪太、櫻井太志2人が、県総体の個人形準優勝、個人組手優勝で福島インターハイの出場権を得た。空手競技の形・組手を論ずることは静と動、虚と実を論ずるが如くこの紙面では不可能だ。緊張という一点に絞って述べる。勝負の世界だ。敗北も自明のことながらあり得る。部活動で何を彼等に残し得たのか。それこそ濃密な時間経験というものではないのか。それは日常・非日常ではない。日常の中における凝縮された時間・体験なのだと思う。競技の中にあるそれ、人情の中にもある。



空手形・組手インターハイ出場

部旗に「自信と信頼」という言葉を故小林知生先生は寄せられた。個人における自信、これは必須。でもそれだけでは駄目だ。仲間への「熱い」信頼がなければ、という。人と人の関係がすべての答えだと示唆する。蓋(けだ)し名言。私は最近、この一言が脳裏去りやらず、時には前にまして鮮明に映るのである。

無念、来年こそ東海大会へ

剣道部監督 桜井 秀樹

剣道部は女子団体の秋の新人戦ではあと一歩で惜しくも東海大会を逃しました。何としても東海大会出場へと臨んだ総体名北予選。予想以上に苦しい戦いが続きました。戦力的には十分県で戦う力があるチームなのですが、千種高校との県大会をかけた一戦は、厳しい戦いを強いられました。それでも何とかしのぎ、1年ぶりに県大会出場を決めた。

私にとってもこの県大会は最後の戦い。是が非でも、という思いでしたが、勝負の世界は厳しい。三河の伝統校西尾高校に対して一つの敗戦を取り戻せぬまま1-0で惜敗、戦いは終わりました。「残念無念」。選手はよくやりました。

剣道部の歴史はこれからも続きます。来年こそ久しぶりの東海大会へと勝ち進むことを願ってやみません。



名北予選3位、県大会へ!

年間行事

(2017年度)

- 4 入学式
オリエンテーション
前期講義開始
- 5 大学開学記念日
- 6 幼稚園教育実習
教育懇談会・後援会総会
- 7 オープンキャンパス
前期講義終了
前期末試験
- 8 前期末試験・夏期休暇(8/7~9/18)
オープンキャンパス
納涼音楽祭、教員免許状更新講習
インターンシップ
- 9 幼稚園教育実習、教育懇談会
後期講義開始
- 10
- 11 オープンキャンパス
保育所実習
大学祭(和丘祭)
- 12 保育所実習
冬期休暇(12/23~1/5)
- 1 後期講義終了、後期末試験
- 2 後期末試験
就職合宿
卒業研究発表会
- 3 卒業証書授与式、学内企業展
春期休暇(2/5~3/31)

サッカーを通して学ぶ謙虚さ・素直さ

男子サッカー部 監督 伊藤 数馬

男子サッカー部は今年、新たに15人の新入生を迎え、総勢53人で日々トレーニングに励んでいます。今季より東海学生サッカーリーグの編成が変更となり、1部12チーム、2部8チームとなりました。2部8チームは全て愛知県内の大学ということもあり、負けられない戦いが続いています。

1部昇格という結果にこだわることはもちろんで

すが、選手全員が攻守にハードワークし、躍動感のあるアグレッシブなサッカーを目指し、活動しています。また、本学の校訓でもある「真面目」に、謙虚に、素直に、サッカーに取り組む集団となるため、諸先輩方の功績や大学関係者のご支援等への感謝の気持ちを忘れず、選手・スタッフがチーム一丸となって、頑張りたいと思っています。応援の程宜しくお願い致します。



得点後のカットポーズ

自律した強いチームを目指して

女子バスケットボール部顧問 谷村 祐子

女子バスケットボール部は現在、選手8人、マネージャー2人、トレーナー1人と少ないながらも日々練習に励んでおります。昨年度は「三河バスケットボールリーグ優勝」と、結果を残すことができました。特に昨年は選手が5人しかおらず、選手交代する余裕もなく、また試合日程の調整など大変であったと思います。春の大会では、私が赴任してから初の1回戦突破となりました。自主的なチーム運営は失敗も含めて彼女らの成長につながり、少しずつですが「自律した強い」チームに近づいています。今後とも応援の程、よろしく願いいたします。



三河バスケットボールリーグ優勝!!

今だからできること、自分でもできるボランティア

地域連携センター 濱野 梓

地域連携センターでは学生に対してボランティア支援をしています。各ボランティアについての説明会を実施したり、相談や紹介等を行っています。他にもボランティアサークルの学生を中心とした防犯ボランティアや、名古屋グランパスとの連携によるイベントボランティアでも活動しています。

今年度からは、気軽に参加できる「収



防犯ボランティア活動

集・寄付ボランティア」(未使用切手或使用済みインクカートリッジ、ユニセフ外国コイン募金等)を開始しました。

東邦STEPに教員コースを新設

東邦STEP運営委員会委員長 深谷 和広(経営学部教授)

東邦STEPは4年間かけて目標に向けて努力する「勉強の部活」です。行政・国税・警察・消防などの採用試験合格を目指す「公務員コース」は開設から3年目を迎えました。2017年度1年生は過去最多の32人(経営学部31人、人間健康学部1人)が集まり、5月20日に活動をスタートしました。

そして、2017年度から新コースを開設しました。小学校教員・中高保健体育教員の教員採用試験合格を目指す「教員コース」です。このコースは9月に活動を開始するため、現時点では仮申込みですが、30人以上の受講希望があります。

両コースとも「資格の学校 TAC」のプロ講師が講座を担当し、目標達成まで導いてくれます。講座の時間帯を日中の1限~5限の間に設定していることから、アルバイトやサークル活動も両立が可能です。こ

新たな段階を迎えた教育学部の「サービス・ラーニング」

教育学部長 今津 孝次郎

2014年4月にスタートした教育学部では、早くも5月に新入生が名東区内の小学校で開かれた運動会のお手伝いに飛び出していきました。教育現場で子ども、先生、保護者の皆さんと1年次から実際に触れ合うなかで獲得した課題を持ち帰り、大学内での学習を深める契機にするという学部の教育方針の具体化でした。

「サービス・ラーニング」(奉仕活動を通じた経験学習)と名付けた取り組みは2016年度から授業化・単位化されて2年目に入ります。この間、訪問する現場は



「子どもミーティング」運営について名東区役所で橘恵美企画経理室長と最初の打ち合わせをした学生代表

今だからできる、そして自分でもできることを一緒に見つけて、多くの経験をしてほしいです。

のような環境の下、東邦STEPでは各コース担当顧問を中心に、受講生の姿勢・習慣作りに取り組みます。

取り組みの詳細は大学Webページにも掲載されています。「東邦STEP」で検索すると確認できますので、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。

今回は9月に実施する両コース合同合宿の実施内容を報告させていただきます。



公務員コースには1年生32人が参加

小学校だけでなく、幼稚園、保育所、児童館など多岐に広がり、地域からも知られるところとなりました。そのせいでしょうか、本年度は「教育学部の学生さんに頼みたい」と名東区内の諸機関から思いがけない依頼が相次ぎました。

一つは、名東区役所が8月に開く「子どもミーティング」(区内小学校5・6年生対象)で名東区まちづくりに関するワークショップのファシリテーター役です。大人による「区民ミーティング」の小学生版は、名古屋市内では初めての試みです。

子どもたちが描く夢の街のイメージをどう引き出すか、班ごとの議論を大学生が東ねていくのですが、1年生では荷が重いでしょうから、昨年のサービス・ラーニングを経験した2年生が中心になって1年生との合同グループで運営することになりました。

もう一つは名東文化小劇場が同じく8月に開く「あつまれKIDSたいけん」(区内小学生全学年対象)の企画運営役です。3軽運動室とホールの計4室で子どもたちが楽しめる種々の企画を立案して運営します。

このように、教育現場とは趣が違う現場で、子どもたちを対象にした行事の企画運営を行う新たな活動の場が与えられ、サービス・ラーニングは4年目にしてレベルアップする新段階を迎えました。8月には大学生たちはきっと大きく成長していることでしょう。

学生11団体が初の活動報告会を開催 互いの理解を深め連携強化へ

学生会やクラブ団体などに所属する学生たちが互いの活動の様子を報告し合う第1回「クラブ活動報告会」が5月25日、体育館で行われました。「愛知東邦大学」という共通の名前を背負ったクラブなどの学生団体に所属する学生たちが一堂に会して、自分たちの活動を紹介し合うのは初



200人近くが参加して開かれた第1回クラブ活動報告会

めの試みです。参加したのは学生会と強化指定クラブ4団体(硬式野球部、男子サッカー部、女子サッカー部、吹奏楽団)とクラブ6団体(軟式野球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、フットサル部、ATTO、アルティメットクラブ)の計11団体に所属する学生たち約200人。互いの理解を深め、連携強化をめざした11団体の報告のポイントを紹介します。

「共に創る」活動の軸に

学生会 倉知 洋平さん(人間健康学部4年)
2016年度は留学生交流会、スポーツ大会、リーダーシップ研修、オープンキャンパス運営支援などのほか、大学祭の準備と運営、卒業パーティーの準備、運営などに取り組んだ。2017年度の目標は「共に創る」。小規模大学だからこそ全員で創り上げることができるメリットがある。学生会が軸となり、教職員、全学生は協力した活動に取り組みたい。

1部昇格で「歴史」を創りたい

硬式野球部 菖蒲 怜さん(人間健康学部4年)
部員68人(1年22人、2年17人、3年20人、4年9人)。練習は週6日。平日は17時～21時。休日は9時～16時。2016年度は秋季に初めて2部Aリーグ優勝したが2部優勝決定戦で敗退。2017年度も前年度と同じ「歴史を創る」が目標。春季は残念ながら4位に終わったが、野球だけでなく学業でも頑張り、秋季こそ1部昇格を果たしたい。

「サッカー部は変わった」と言われるように頑張りたい

男子サッカー部 馬塚 貴之さん(人間健康学部4年)
2016年度は東海大学サッカー2部リーグで7位と、

ふがいない結果だった。2017年度は最終節には優勝という結果を残し1部に上がりたい。学業の面でも教員から好評判が得られるようにし、「サッカー部は変わった」と言われるように頑張りたい。インカレに出場するなど健闘している女子サッカー部の活躍は刺激になっている。



「サッカー部は変わったと言われるように頑張りたい」
=男子サッカー部

「闘走信」の強い気持ちで

女子サッカー部 中村 陽さん(人間健康学部4年)
2016年度はインカレベスト16(目標はベスト8)、いづれも優勝をめざした愛知県選手権は準優勝、東海リーグ1部は4位、愛知県リーグ1部は3位に終わった。新入生11人を迎えた2017年度はインカレベスト8(東海第1代表で出場)、東海リーグ3位以内、他は優

勝を目標に雪辱を果たしたい。「闘走信」の強い気持ちで仲間を信じて闘い、走り切る。



「新スローガンは『闘走信』です」=女子サッカー部

「日本一のアイドルバンド」をめざす

吹奏楽団 花木 珠里さん(経営学部地域ビジネス学科3年)
独特のマーチングスタイルで「日本一のアイドルバンド」をめざしている。年々演奏依頼が増え、創団時は年間10回程度だった本番演奏が2016年度は30回以上に上った。新入部員を2人迎えた2017年度は、9月のマーチング名古屋大会のほか、今年こそは12月の全国大会初出場をめざす。いつも応援してくださる皆さんに感謝し演奏、演技で恩返ししたい。

文武両道でボランティア活動も

軟式野球部 浅井 大誠さん(経営学部地域ビジネス学科2年)
部員23人とマネジャー2人。中部日本学生野球連盟に所属。文武両道を掲げた活動規定で、授業を欠席したり単位の取れていない人は試合に出さない。月、木曜日に練習し、春と秋のリーグ戦に参加。長期休暇期の遠征もある。現在の2部リーグから1部リーグをめざしている。2017年度は社会に通じる人間になるためボランティア活動にも参加したい。

体制を整え勝利をめざす

男子バスケットボール部 片山 洋夢さん(人間健康学部4年)
東海学生バスケットボール連盟に所属。練習は火、木、金曜日の18時から20時。2016年度は春のトーナメント大会、夏のリーグ戦で勝利できなかったが、冬の第3回東海学生交



「体制を整え大会勝利をめざします」=男子バスケット部

換大会では2勝1敗と勝ち越せた。車椅子バスケットボールの支援ボランティアも実施。2017年度は11年生7人を迎え部員は15人。体制を整え大会での勝利をめざしたい。

三河リーグで初優勝

女子バスケットボール部 佐藤 由葵さん(経営学部地域ビジネス学科3年)
部員は1年生3人を迎えプレーヤー8人、マネジャー2人、トレーナー1人の計11人。チーム内の距離が近く互い指摘し合いながら練習内容は自分たちで決めている。2016年度は春と夏の大会では結果を出せなかったが年度後半から半年間の三河リーグで初優勝できた。2017年度は6月リーグ戦、夏の大会でも勝ち、応援されるチームになりたい。

経験を積み重ね目標を達成したい

フットサル部 加藤 誠也さん(人間健康学部3年)
2016年度は3部リーグ残留を目標に、リーグ戦はコーチのいない中、自分たちで練習メニューを考え練習してきた。春休みと夏休みも週2回の練習を継続。2017年度は2部昇格という目標に向かって、昨年同様に火、木曜日の週2回の練習を継続しつつ、他チームとの練習試合を増やし、他の大会にも出場し、経験を積み重ね目標を達成したい。

トレーナーとしてのサポート

ATTO(愛知東邦トレーナー組織) 蔭山 晃紀さん(人間健康学部3年)
トレーナーやスポーツ指導者を目指す学生たちがトレーニングやコンディショニング方法、スポーツ傷害の応急処置などを通じ学んでいる。名東区民祭りでリラクゼーションマッサージを提供したり、中部学生トレーナー交流会などに参加している。2017年度も他大学との交流を深め、学内ではいろんな方々のトレーナーとしてのサポートをしていきたい。

創部4年目で上位リーグ進出したい

アルティメット部 高瀬 竜弥さん(人間健康学部3年)
創部4年目で部員は1年1人、2年3人、3年5人、4年6人、マネジャー3人の計18人。2016年度は各大会で1、2勝しかできなかったが、2017年度は上位リーグ進出をめざし、中部地区上位入賞を目標に頑張りたい。4年生が就職活動で練習に参加できない日が多くなるので、3年生を中心に、先輩たちから学んだことを後輩に伝えていきたい。

2016(平成28)年度
東邦学園 事業報告

東邦学園の発祥となった東邦商業学校以来、94年間人材を輩出してきた高校の商業科は、2016年度末で最後の卒業生を送り出し、その役割に幕を下ろした。少子化の時代、学園は社会の変化に対応しながらも、常に誇りを持って前進できるよう、諸活動の充実と共に、社会人の受け入れや地域創生、国際交流などに新しく取り組み、大学、高校それぞれが「らしさ」を追求した。

【法人部門】

法人部門は、学園の知名度が高まるよう、ブランド戦略を進めた。担当部署を設けて、広報Webサイトを中心に様々な媒体を見直すなど、発信力強化の仕組みと広報の質の向上を図った。また、内部進学率の向上を課題の中心に据えて、大学と高校との連携の密接化を支援し、高大連携授業や教職員合同研修会などに取り組んだ。

さらに、多額の財政支出を伴う施設設備拡充事業も将来の安定的な学園運営につながる先行投資として、教育研究活動の充実を図るためのハード面の環境整備の設計に取り組んだ。

決算は、収入では、その7割程度を占める学生生徒納付金が、大学と高校共に在籍者が減ったため、減収となった。支出では、公式Webページ全面リニューアル、経営学部国際ビジネス学科の開設、「TOHO Learning House」の開館など、支出増の要因が生じた。一方で、人件費や教育研究経費、管理経費で未執行による支出減があり、事業活動支出全体では、2015年度より約1,700万円抑制された。その結果、教育研究活動面から収支をみる事業活動収支差額は、1億660万円の収入超過を確保した。

【愛知東邦大学】

大学は、学校教育法に基づき、7年単位で全大学に審査が課される認証評価を、日本高等教育評価機構から受けた。2010年度の受審以来で、2016年度で最重要の業務となった。過去6年間の実績に対する総点検の結果は「適合」であった。「特に優れた点」が3点あり、「改善を要する」点は一切なかった。同機構は2016年度に審査した4年制大学80校のうち77校を適合としたが、本学のように改善意見を付さなかった大学は半数の40校だった。「特に優れた点」の総計は74あり、このうち3つを本学が得たことになる。

2016年度入学者は、2015年度比で大幅に下降した。特に経営学部到新設した国際ビジネス学科は、定員の2割に止まった。しかし、2016年度の活動が表れる2017年度募集では、若干の定員割れにまで挽回した。きめ細やかな活動の功奏があるが、文部科学省による大手私大への定員管理策に支えられた面も強く、本学の諸活動と就職実績の評価が問われることを認識させられた。その就職実績は好景気に支えられ、前年度を超え、子ども発達学科は100%を達成した。

新たな取り組みとして、経営学部国際ビジネス学科を新設。入学者は少なかったが、小規模できめ細やかに学べる利点を生かして、意欲的に学ぶ学生の集う学科となった。また、大学近くに「TOHO Learning House」を開設し、学生寮の機能に加え、地域活動や学生が自主運営するゲストハウスも始めた。

社会人迎え入れの仕組みも導入した。文部科学省認定の「履修証明プログラム」が授与される「職業実践力育成プログラム」で、中小企業の社員が1年間受講し、極めて高い評価を受けた。また、「愛知東邦大学コミュニティーカレッジ」も開設し、開かれた大学の役割を果たした。地域創生のため、沖縄県読谷村と協定を結び、将来村の担い手となる村長特別推薦奨励学生を2017年度から受け入れた。さらに、留学生を新たな形で迎え入れるため、中国・広東の私大と交流の覚書を締結し、2018年度から高い日本語能力を備えた学生を受け入れる道筋がついた。

課外活動では女子サッカー部が、3年連続4回目の全国大学選手権大会出場を果たし、ベスト16へ勝ち進んだ。車イスバスケットボールの22歳以下の国際大会に経営学部の学生が日本代表に選ばれ、活躍。地域と連携する形式の演習や授業が活発に行われ、名東区の区民ミーティングへも参加した。

【東邦高等学校】

高校は2016年度末で、94年間の商業科の歴史に幕を下ろした。その終焉に相応しく2016年度の本校は明るい話題に事欠かなかった。硬式野球部が春夏連続の甲子園出場、サッカー部の全国選手権出場、選手や応援生徒が「諦めない東邦」の姿を見せてくれた。空手道部、水泳部、ダンス部、男子バレー部、バトン部も全国大会出場を果たし健闘した。1年生クエストカップは参加校数が増え続ける激戦の中で、1チームが審査を突破し全国大会に出場、企業賞まであと一步の善戦であった。

2016年度は、2次中期事業計画に基づいて、キャリア教育、グローバル教育、ICT教育、ESDなどの教育の充実に取り組み、新たに「アクティブラーニング(AL)」の充実に向けての努力を進めてきた。また、今後本校が教育機関としての役割を今後も安定的に果たせるよう、信頼され「選ばれる学校」となるための努力を積み重ねている所である。

2016年度 決算概要

経常的に学園全体でほぼ32億円前後を擁する予算は、2016年度、収入の7割程度を占める学生生徒納付金収入が、大学と高校でいずれも在籍者が減ったため、減収となった。支出では、学園のブランディングの一環としての公式Webページ全面リニューアル、大学では経営学部国際ビジネス学科の開設や認証評価の受審、「TOHO Learning House」の開館、「中小企業のための若手社員活性化プログラム」の開設など、支出増の要因が生じた。一方で、人件費や教育研究経費、管理経費で未執行による支出減があり、事業活動支出全体では、2015年度より約1,700万円抑制された。その結果、教育研究活動面から収支をみる事業活動収支差額は、1億660万円の収入超過を確保した。予算は2016年3月に「当初」を編成、5月に学生生徒数の確定を受けて第一次補正、さらに2017年1月は新たな支出と、国・県からの補助金交付額、学生生徒の在籍数、予算執行状況なども踏まえて第二次補正を行い、決算に至った。

資金状況でみると、2016年度から2017年度への繰越支払資金は、最終的に1年前より2億4,354万円増の17億6,654万円となった。

学園は財務の安定性・継続性を保つため、単年度の収支バランスを測る指標として「事業活動収支差額比率(基本金組入前当

年度収支差額÷事業活動収入＝旧帰属収支差額比率)」を、学校法人平均の5%に設定している。2016年度決算では収入減の影響で3.3%に留まり、前年度から1.4ポイント下がった。ただ、支出項目別の比率では、「人件費比率(人件費÷事業活動

収入)」が、目標の60%以下(退職金を除く)に対して58.5%、「教育研究経費比率」(教育研究経費÷事業活動収入)」は、目標の26%以上に対して29.8%、「管理経費比率(管理経費÷事業活動収入)」も、目標の6%以下に対して5.7%となり、目標比率を達成した。

資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,125,921	2,128,174	△ 2,253	人 件 費 支 出	1,970,924	1,956,486	14,438
手 数 料 収 入	46,029	42,901	3,127	教育研究経費支出	540,437	528,178	12,258
寄 付 金 収 入	41,653	46,757	△ 5,104	管 理 経 費 支 出	193,819	181,214	12,604
補 助 金 収 入	916,129	914,524	1,604	借入金等利息支出	16,188	15,850	337
資 産 売 却 収 入	0	0	0	借入金等返済支出	206,382	206,372	10
付随事業・収益事業収入	12,623	12,568	54	施 設 関 係 支 出	1,563	1,533	29
受取利息・配当金収入	1,800	2,343	△ 543	設 備 関 係 支 出	35,853	30,709	5,143
雑 収 入	90,461	90,636	△ 175	資 産 運 用 支 出	222,987	221,971	1,015
借 入 金 等 収 入	0	0	0	そ の 他 の 支 出	31,944	31,939	4
前 受 金 収 入	324,768	382,938	△ 58,170	〔 予 備 費 〕	(1,429)		28,571
そ の 他 の 収 入	192,009	197,116	△ 5,107		28,571		
資金収入調整勘定	△ 422,691	△ 435,237	12,546	資金支出調整勘定	△ 24,469	△ 35,071	10,602
前年度繰越支払資金	1,523,008	1,523,008		翌年度繰越支払資金	1,627,509	1,766,549	△ 139,040
収 入 の 部 合 計	4,851,710	4,905,733	△ 54,023	支 出 の 部 合 計	4,851,710	4,905,733	△ 54,023

活動区分資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

教育活動による資金収支	
教 育 活 動 資 金 収 入 計	3,220,377
教 育 活 動 資 金 支 出 計	2,665,878
調 整 勘 定 等	42,947
① 教育活動資金収支差額	597,445
施設整備等活動による資金収支	
施設整備等活動資金収入計	15,186
施設整備等活動資金支出計	252,214
調 整 勘 定 等	11,490
②施設整備等活動資金収支差額	△ 225,537
その他の活動による資金収支	
そ の 他 の 活 動 資 金 収 入 計	9,515
そ の 他 の 活 動 資 金 支 出 計	224,362
調 整 勘 定 等	86,478
③その他の活動資金収支差額	△ 128,367
支払資金の増減額 (①+②+③)	243,541

事業活動収支計算書					
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで					
(単位：千円)					
科 目			予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,125,921	2,128,174	△ 2,253
		手 数 料	46,029	42,901	3,127
		寄 付 金	41,653	46,804	△ 5,151
		経 常 費 等 補 助 金	900,943	899,338	1,604
		国 庫 補 助 金	142,000	137,890	4,110
		地方公共団体補助金	758,943	761,448	△ 2,505
		付 随 事 業 収 入	12,623	12,568	54
		雑 収 入	90,461	90,636	△ 175
		教育活動収入計	3,217,630	3,220,424	△ 2,794
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人 件 費	1,977,599	1,962,889	14,709
		教育研究経費	978,383	965,625	12,757
		管理経費	198,629	186,003	12,625
		徴収不能額等	0	△ 627	627
		教育活動支出計	3,154,611	3,113,890	40,720
	教育活動収支差額		63,019	106,533	△ 43,514
教育活動外収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	1,800	2,343	△ 543
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	1,800	2,343	△ 543
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	16,188	15,850	337
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	16,188	15,850	337
	教育活動外収支差額		△ 14,388	△ 13,507	△ 880
	経常収支差額		48,631	93,026	△ 44,395
特別収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	16,288	16,962	△ 674
		特別収入計	16,288	16,962	△ 674
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	3,486	3,485	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	3,486	3,485	0
	特別収支差額		12,802	13,477	△ 675
	〔 予 備 費 〕		(2,893) 27,107		27,107
基本金組入前当年度収支差額		34,326	106,504	△ 72,178	
基本金組入額合計		△ 46,334	△ 1,758	△ 44,575	
当年度収支差額		△ 12,008	104,746	△ 116,754	
前年度繰越収支差額		△ 3,768,557	△ 3,768,557	0	
基本金取崩額		0	83,688	△ 83,688	
翌年度繰越収支差額		△ 3,780,565	△ 3,580,121	△ 200,443	
(参 考)					
事業活動収入計		3,235,718	3,239,730	△ 4,012	
事業活動支出計		3,201,392	3,133,225	68,166	

貸借対照表			
平成29年3月31日			
(単位：千円)			
資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,818,407	9,060,455	△ 242,048
有形固定資産	7,713,909	8,124,195	△ 410,285
特定資産	1,058,126	836,155	221,971
その他の固定資産	46,370	100,104	△ 53,733
流動資産	1,906,486	1,713,177	193,308
資産の部合計	10,724,893	10,773,633	△ 48,739
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,912,462	2,095,804	△ 183,342
流動負債	729,527	701,429	28,097
負債の部合計	2,641,989	2,797,233	△ 155,244
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	11,663,026	11,744,956	△ 81,930
第1号基本金	11,229,125	11,302,056	△ 72,930
第3号基本金	217,900	217,900	0
第4号基本金	216,000	225,000	△ 9,000
繰越収支差額	△ 3,580,121	△ 3,768,557	188,435
純資産の部合計	8,082,904	7,976,399	106,504
負債及び純資産の部合計	10,724,893	10,773,633	△ 48,739

2017(平成29)年度 東邦学園 事業計画

競争環境の一層の激化の中で、諸課題に取り組み、新たなニーズに応える必要がある。2016年、日本の出生者数は100万人の大打を割った。この大波が押し寄せても学園を揺るがせないため、6年後の100周年を大きな節目として、基盤を強化する2017年度としたい

大学は首都圏を中心とした大規模校に、学力中上位層の学生が万単位で集まり、「教育」は格差を跳ね返し、人生ばん回の機会となるべきで、私たちは全力で後押しする必要がある。一方で18歳人口は2018年度から急速に減り始める。愛知東邦大学は現状の評価から脱しなければ、10年後の存立は危うい。2016年度に日本高等教育評価機構の「認証」を改めて受け、経営と教育における課題が明らかとなった。特に経済困窮者への対応と中途退学問題は重い。さらに本学の知名度の極端な低さが、学生募集に困難をもたらし、学生自身の誇りも傷つけている。

東邦高校は、募集において一時期の低迷を脱して、本校としては上向きだが、志願者総数ではライバル校に水を開けられ、一部中位校の後塵も拝している。男女共学化以降数年間の評価からは、後退している。鍵は東邦高校自身のプログラムの魅力と実績に加えて、同じ学園内の大学の評価が握っている。その意味で、愛知東邦大学は学園全体の命運を背負っている。

学園創立95年目を迎える2017年度、東邦学園は一つの歴史が変わる。学園の発祥・東邦商業学校以来の商業科が、前年度末で幕を閉じた。東邦高校では普通科人間健康コースから、愛知東邦大学では教育学部から、それぞれ初の卒業生を送り出す。

創立100周年に向けて、学園を強靱にするには、教育力を向上させ、誇りを抱いて次の進路や社会へと踏み出せるよう、教職員が学生・生徒を全力で支えていくことである。政府はようやく「どんなに貧しい家庭で育っても、誰もが希望すれば、高校にも、専修学校、大学にも進学できる環境を整えなければならない」(2017年1月20日・首相施政方針演説)として、進学支援拡充策の方針を打ち出した。だが、私学は基本的に、自立した経営基盤を整えなければ、かつてない少子化を乗り切れない。そのために教育機関としての役割を果たす新たな事業展開も検討する。

【学園 重点目標】

- ①中期経営計画2年目として同計画に定められた各中核施策のシナリオを着実に実行する。
特にブランディング戦略については、Phase2「基盤策定期」として、ブランド基盤を決定し、コンセプトに基づく活動を実施する。
- ②2023年の学園創立100周年に向け、体制を再構築し、記念事業を計画する。

2017年度 予算概要

2017年度予算は、教育研究活動を滞りなく続けると共に、中期経営計画に掲げた事業が実現できるよう編成した。その結果、大学のブランディングを確立し知名度向上を図る事業などに支出がかさみ、支出超過の編成でスタートする。このため、教育研究や学生募集に係る経費は一定確保しつつも、支出は執行段階において事業活動の経費項目を再度精査するとともに、費用の削減に努め、決算では可能な限り収支の均衡が保たれるよう支出超過額の圧縮に取り組む。

事業活動収支予算 (単位：千円)		
区 分	予 算	評価の視点
教育活動収支差額①	43,910	教育活動の収支状況
教育活動外収支差額②	△ 12,403	財務活動の収支状況
経常収支差額①＋②	31,507	経常的収支のバランス
特別収支差額	4,803	資産売却や処分等臨時的収支
予備費	30,000	
基本金組入前当年度収支差額	6,310	毎年度の収支バランス (帰属収支差額)
基本金組入額合計	△ 90,197	
当年度収支差額	△ 83,886	長期収支のバランス

資金収支予算 (繰越支払資金を除く) (単位：千円)		
区 分	予 算	備 考
収入の部	3,281,518	
支出の部	3,295,652	
資金収支差額	△ 14,134	

2017年度 資金収支予算総括表 (単位：千円)

勘定科目		金額
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,154,107
	手数料収入	47,006
	寄付金収入	44,705
	補助金収入	872,636
	資産売却収入	-
	付随事業・収益事業収入	19,924
	受取利息・配当金収入	1,800
	雑収入	76,224
	借入金等収入	-
	前受金収入	365,553
	その他の収入	141,707
	資金収入調整勘定	△ 442,143
	前年度繰越支払資金	1,766,549
収入の部合計		5,048,068
支出の部	人件費支出	1,931,111
	教育研究経費支出	601,389
	管理経費支出	204,223
	借入金等利息支出	14,203
	借入金等返済支出	189,746
	施設関係支出	65,941
	設備関係支出	37,230
	資産運用支出	218,937
	その他の支出	36,836
	予備費	30,000
	資金支出調整勘定	△ 33,964
	翌年度繰越支払資金	1,752,415
	支出の部合計	5,048,068
収入		3,281,518
支出		3,295,652
差額		△ 14,134

2017年度 事業活動収支予算総括表 (単位：千円)

勘 定 科 目			金 額
教育活動収支	事業活動収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金	2,154,107
		手 数 料	47,006
		寄 付 金	44,705
		経 常 費 等 補 助 金	867,341
		付 随 事 業 収 入	19,924
		雑 収 入	76,224
	事業活動支出の部	教 育 活 動 収 入 計	3,209,307
		人 件 費	1,938,946
		教 育 研 究 経 費	1,017,999
		管 理 経 費	208,451
		徴 収 不 能 額 等	-
		教 育 活 動 支 出 計	3,165,396
教育活動収支差額			43,910
教育活動外収支	事業活動収入の部	受 取 利 息 ・ 配 当 金	1,800
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	-
		教 育 活 動 外 収 入 計	1,800
	事業活動支出の部	借 入 金 等 利 息	14,203
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	-
		教 育 活 動 外 支 出 計	14,203
教育活動外収支差額			△ 12,403
経常収支差額			31,507
特別収支	事業活動収入の部	資 産 売 却 差 額	-
		そ の 他 の 特 別 収 入	6,413
		特 別 収 入 計	6,413
	事業活動支出の部	資 産 処 分 差 額	1,610
		そ の 他 の 特 別 支 出	-
		特 別 支 出 計	1,610
特別収支差額			4,803
〔 予 備 費 〕			30,000
基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額			6,310
基 本 金 組 入 額 合 計			△ 90,197
当 年 度 収 支 差 額			△ 83,886
前 年 度 繰 越 収 支 差 額			△ 3,580,121
事 業 活 動 収 入 計			3,217,520
事 業 活 動 支 出 計			3,211,209

学園の人事構成

本年度の学園の人事構成は下記の通りです。

◆理事・監事・評議員	
理事長	榊 直樹
常務理事	長沼 均俊
理事	佐々木泰裕、増田 貴治 澤田 節子、村田 悟 高山 仁惣、加藤 明彦 木岡 一明、志村 進
監事	川竹 敬三、鈴木 基仁
評議員	澤田 節子、中山 孝男 今津孝次郎、貫名 正樹 村田 悟、藤本 紀子 水谷 光博、山田 博子 戸谷 正行、佐長谷和恵 高山 仁惣、大河 哲男 鬼頭玖仁子、古市 光明 遠山 真人、下出 啓介 加藤 雄次、大矢 郁夫 鵜飼 哲也、別所 眞三 元松 茂

◆法人事務局	
法人事務局長	増田 貴治
特任(財務)事務局次長	堀田 時弘
法人事務局課長補佐	池田 暁生
広報企画課長	柴田千登勢
広報企画課長補佐	松井 慶太
以下大学同役職兼ねる	
総務課長	西 弘美
経理課長	堀田 時弘
総務課長補佐	貫名 正樹
総務課長補佐	藤川 久孝
◆大学	
学	長：榊 直樹

副学長：若林 努	
学長補佐	長沼 均俊
学長補佐	上條 憲二
学長補佐	増田 貴治
経営学部長	中山 孝男
経営学部長補佐	高木 靖彦
地域ビジネス学科長	中山 孝男
国際ビジネス学科長	田村 豊
人間健康学部長	澤田 節子
人間健康学部長補佐	葛原 憲治
教育学部長	今津孝次郎
教育学部長補佐	後藤 永子
学術情報センター長	高木 靖彦
地域連携センター長	船木 恵一
教職支援センター長	今津孝次郎
地域創造研究所長	山極 完治
教務委員長	葛原 憲治
入試委員長	杉谷 正次
就職委員長	深谷 和広
学生委員長	丸岡 利則
総務委員長	阿部 克己
◆大学事務局	
事務局長	齋藤 周一
教務課長	藤井 玲子
教育企画課長	〃
学生課長	二宮加代子
学術情報課長	〃
入試広報課長	長沼 英樹
就職課長	〃
教務課長補佐	新村 健
就職課長補佐	阪口 将史
学術情報課長補佐	富田 敦史
入試広報課長補佐	三輪 哲也

◆高等学校	
校長	佐々木泰裕
教頭	桜井 秀樹
〃	藤本 紀子
特任教頭	渡邊 素幸
校務部長	今井 通昭
教務部長	山田 剛司
生活指導部長	山田 博子
広報企画室長	平上 純一
進路指導主事	森田 美樹
国際交流室長	伊藤 保憲
メディアセンター長	齋藤 卓哉
保健指導主事	船水 昭宏
生徒会正顧問	古田 知子
学年主任第1学年	森下 康介
学年主任第2学年	宮田 久
学年主任第3学年	大上 雄示
学科主任美術科	小塚 康成
コース責任者文理特進	稲葉 益夫
コース責任者人間健康	横井 由弦
教科主任国語科	青山 大輔
〃社会科	木村 剛
〃数学科	蔡 賢治
〃理科	保坂 秀和
〃保健体育科	澤田 洋平
〃芸術科	杉浦見奈子
〃英語科	岡本 洋美
〃家庭科	田中 瑞穂
〃情報科	小嶋 裕人
◆高校事務部	
事務部長	袴田 克彦
総務課長補佐	山田 智代
情報システム課長補佐	池田 暁生

愛知東邦大学 コミュニティカレッジ 2017 年度後期講座開講日程

AI(人工知能)で変わるビジネスと暮らし ～メディアとコンピュータの融合がもたらすデータ社会～

インターネットとスマホの普及によって、私たちの生活は大きく変わりました。今後インターネットは様々なモノに接続されてゆき、AI(人工知能)がそのデータを分析し活用する社会が訪れようとしています。ビジネスや暮らしがどう変わってゆくのか？注目されているキーワードを中心に考察してゆきます。

- ◆講師：船木 恵一(経営学部 教授)
- ◆日程：10/7(土) 13：00～14：30

認知症サポーター養成講座 知って安心！認知症のこと

認知症対策の一環として、日本各地で認知症サポーター養成講座を開催しています。平成 29 年 3 月までに、全国で約 900 万人の方が受講されています。名古屋市内でも養成講座が様々な場所で行われ、これまでに 9 万人の方が受講されています。認知症サポーターは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を見守る応援者です。認知症サポーター養成講座を受講された方が認知症サポーターです。

あなたも認知症について学び、認知症サポーターになってみませんか。そして認知症の方やその家族が安心して生活できる環境と一緒に作っていきましょう。
愛知信用金庫は、地域見守り活動を通じ、地元の皆様を応援してまいります。

- ◆講師：愛知信用金庫
- ◆日程：10/14(土) 10：00～11：30

身体障害者の起業

身体障害者の置かれた現状を認識し、雇用と起業を考えます。まずは雇用状況を統計と実際から理解し、社会福祉制度とそれによる生活の限界を考えます。身体障害者の働ける選択は様々ですが、その可能な分類を経て、起業を働く範疇として考慮します。身体障害者の起業の実例を通して、生活費の確保と生き甲斐と社会貢献の姿を模索します。

- ◆講師：寺島 雅隆(経営学部 准教授)
- ◆日程：11/18、11/25、12/2 毎週土曜 10：00～11：30

英文多読のはじめかた

「英文多読」とは、やさしい英語の本を辞書をひかずにたくさん読む(だけ)という学習法です。どんな人でも自分の英語力に合わせて始められます。この講座では、主に本学図書館の図書を利用して、多読の方法についてお話します。英語が好きな人、多読に興味があるけどどう始めてよいかわからない人、これまでほかの学習法で効果がなかった人など、どなたでも大歓迎です。

- ◆講師：竹越 美奈子(経営学部 准教授)
- ◆日程：1/13(土) 10：00～11：30

学校法人東邦学園のホームページが スタートしました

学校法人東邦学園の法人ホームページが 2017 年度からスタートしました。愛知東邦大学、東邦高校の最新ニュースサイトや過去の記事にリンクする一覧が見られるほか、法人ホームページならではの「語り継ぐ東邦学園史」の連載企画サイトをご覧ください。

「語り継ぐ東邦学園史」は歴史の谷間に埋もれていた出来事やドラマを発掘していく連載企画です。第 1 回「東邦商業学校の誕生」、第 2 回「夢を応援する教師」、第 3 回「105 歳 2 回生も医師」、第 4 回「東邦商業新聞の発行」、第 5 回「帝大にも挑んだ籃球部」、第 6 回「3 回生の絆」、第 7 回「赤菰

社会福祉学の入門

社会福祉の「実践」とは違って、「学問」としての社会福祉学についての基本的な知識を分かりやすく講義します。学問としての入門講義ですから、理論を中心に、さらに根本となる原理を出発点にして、さまざまな命題を導き、体系としてまとめられたものを分かりやすく伝えます。講義の中心は、現実にある社会福祉の実践についての意味と学問的な根拠を追及するところにあります。

- ◆講師：丸岡 利則(人間健康学部 教授)
- ◆日程：10/10(火) 18：00～19：30

企画提案の進め方

ビジネスの世界では避けて通れない企画提案。企画立案から企画書作成、プレゼンテーション、一連の流れを円滑にすすめるにはどうすればよいか。
広告業界、ブランドコンサルティング業界で長年培った企画提案のノウハウ、コツを分かりやすく解説します。

- ◆講師：上條 憲二(経営学部 教授)
- ◆日程：10/24、11/7、11/21、11/28、12/19(予定) 毎週火曜 18：30～20：00

「元日本代表選手」が指導する体操教室！

年長～小学生を中心とした体操教室を行います。
【内容】
◎マット(前転・倒立前転・側転・バク転など)
◎跳び箱(開脚跳び・台上前転・首はねおき跳びなど)
◎鉄棒(逆上がり・空中前回り・空中後ろ回りなど)
上記 3 種目を行います。

- ◆講師：小島 正憲(人間健康学部 准教授)
- ◆日程：10/28(土) 10：40～12：00

テーマ別で楽しむおとな旅ー海外編ー

いいお宿でゆっくり過ごしたい、おいしいお食事が食べたい、現地の観光スポットを多く巡りたい、など人それぞれ旅の目的は違います。旅のプランがテーマごとにオスメのお宿、観光場所、穴場スポットなどを国内、海外に分けてお伝えします。海外編ではエリア別でオスメのホテル、観光場所をご紹介します。

- ◆講師：近畿日本ツーリスト 都築辰哉(予定)
- ◆日程：12/9(土) 10：00～11：30

【お問い合わせ】

〒465-8515
名古屋市名東区平和が丘 3-11
TEL：052-782-1241
愛知東邦大学
コミュニティカレッジ担当

道場の伝説剣士」、第 8 回「野球部誕生への足踏み」と連載は進んでいます。

第 7 回では 1970 年 11 月 25 日、作家の三島由紀夫が東京・市ヶ谷の自衛隊駐屯地で、隊員たちに憲法改正を訴えて決起を訴えた後、割腹自殺を図った事件で、真剣を振りかざす三島と木刀で対峙した東邦商業剣道部 OB の一等陸佐の話も紹介しています。

法人ホームページではこのほか、「東邦学園要覧」や「東邦キャンパス」の PDF 版が 2008 年 9 月の 106 号から 2017 年 1 月の 126 号まで読める「学園広報誌」サイトもご覧いただけます。どうぞご利用ください。

法人ホームページは「東邦学園」で検索できます。

<http://www.toho-gakuen.jp/>

愛知東邦大学

経営学部
地域ビジネス学科

経営学部
国際ビジネス学科

人間健康学部
人間健康学科

教育学部
子ども発達学科

オープンキャンパス

7/8(土)・8/9(水)・
8/25(金)・8/26(土)
11/18(土)

- 9:00/受付開始 10:00/オープニング
- 開催場所/愛知東邦大学キャンパス内
- 対象/高校生・保護者
- 内容/総合説明会・体験授業・キャンパスツアー
学食体験・AOガイダンス・AO入試対策講座など
- 地下鉄「一社」駅より無料送迎バスがあります

【お問い合わせ】

愛知東邦大学 入試広報課

TEL: 052-782-1600

東邦高等学校

普通科(文理特進・普通・人間健康)
美術科

美術科夏期講習会 7/28(金)、7/29(土) 両日とも9:00~15:00 要申し込み

普通科夏休み1日体験セミナー

7/28(金)、7/29(土) 両日午前の部、午後の部の2回実施 要申し込み

部活動見学会 8/28(月) 9:00~12:00 要申し込み

文化祭(一般公開日) 9/23(土・祝) 10:00~14:00 入場制限あり

中学生英語スピーチコンテスト

10/29(日) 9:00~13:00 要申し込み

学校説明会 11/3(金・祝) 9:00~11:00

デザイン講習会

11/3(金・祝) 9:00~11:00
11:00~13:30 要申し込み

美術科卒業制作展

11/21(火)~26(日) 10:00~

美術科説明会 11/23(木・祝) 11:00~12:00

入試説明会 12/2(土) 9:00~11:00

美術科卒業制作展は愛知県美術館が会場となります。
その他のイベントは全て東邦高校が会場となります。



【お問い合わせ】

東邦高等学校

TEL: 052-782-1171 (代)